

防災訓練実施計画書

組 織 名					
日 時	令和 年 月 日 ()		時 分 ~		時 分
会 場					
参 加 者				参加人数	名
指 導 者	防災士の活用	<input type="checkbox"/> 有	氏名		
			内容		
				<input type="checkbox"/> 無	
目 的					
想 定	〔想定災害 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 津波 <input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 土砂災害〕				
新潟 市推 奨訓 練	<input type="checkbox"/> 自主防災組織実行力向上訓練 〔3項目中、3項目実施〕 ※実行力の向上に自立して取り組む組織を支援します。				
	1	<input type="checkbox"/> 自主防災組織関係者のみ、もしくは地域の防災士の協力のもとで、防災訓練を計画する。			
	2	<input type="checkbox"/> 自主防災組織関係者のみ、もしくは地域の防災士の協力のもとで、防災訓練を実施する。			
	3	<input type="checkbox"/> 自主防災組織関係者のみ、もしくは地域の防災士の協力のもとで、防災訓練の振り返りを行う。			
	<input type="checkbox"/> 初動対応力向上訓練 〔4項目中、3項目以上実施〕				
	1	<input type="checkbox"/> 地震、津波、洪水など、それぞれの災害の際にまず自宅内でとるべき行動を自主防災組織内で検討、周知する。			
	2	<input type="checkbox"/> 避難のタイミング、避難所開設基準、地域などの防災体制について、自主防災組織内で確認、説明する。			
3	<input type="checkbox"/> 参加者が非常持ち出しセットを訓練場所に持参するよう事前に案内をする。				
4	<input type="checkbox"/> 事前に備えておくべき備蓄品や非常持ち出し品を紹介し、使用する。				

新潟市推奨訓練	□避難所運営訓練 [18項目中、9項目以上実施]	
	1	□訓練会場における避難所運営委員会を立ち上げ済である。
	2	□避難生活を送る上で持参する必要があるものを訓練参加者が検討する。
	3	□各運営班を作り、役員以外の参加者にも役割分担を行う。
	各運営班を作り、以下の項目を実施する。	
	ア 総務班	
	4	□密にならない受入手順を確認し、避難所入口や受付を設置する。
	5	□避難者カードを記入し、避難者名簿の作成、参加者の体温・体調や感染症対策を確認する。
	6	□避難所運営スタッフの装備品（マスク、ゴム手袋等）の着脱手順を確認する。
	7	□車両避難者の受付や駐車位置を検討する。 (大規模な駐車場を有するなど、あらかじめ車での避難を想定、周知している場合のみ)
	イ 食料物資班	
	8	□炊き出し訓練を行い、参加者へ提供する。
	9	□炊き出し時の感染防止対策を確認する。
	10	□避難所の備蓄物資の現状及び配布方法を確認する。
	ウ 環境班	
	11	□避難所のレイアウト（一般の避難スペース、専用スペース等）を確認し、参加者を誘導する。
	12	□濃厚接触者等が来所した場合や避難者の中から症状のある者が発生した場合の対応及び専用スペースへの受入方法等を確認する。
	13	□ペット同行避難の避難場所やルールを検討、共有する。
14	□要配慮者がトイレを利用する際の対応や、仮設トイレの設置場所を確認する。	
15	□避難所の定期的な換気及び共用箇所を消毒する。	
エ 情報班		
16	□感染症対策を踏まえた避難所での生活ルールの策定及び周知を行う。	
17	□感染防止に関する情報の共有及び感染症対策を確認する。	
オ ボランティア班		
18	□各班や想定避難者のニーズを聞き取り、ボランティア要請内容を検討する。	

新潟市 推奨 訓練	□学校連携訓練 [3項目中、3項目実施]	
	1	□コミュニティ協議会などを単位とし、連合自主防や複数自主防が合同で訓練を実施する。
	2	□授業等の学校行事やPTA行事と連携して児童・生徒が参加する訓練を行う。
	3	□学校と連携し、住民・児童・生徒の避難時のルールについて話し合う。
	□避難行動要支援者訓練 [5項目中、4項目以上実施]	
	1	□個別避難支援計画を策定済みである。
	2	□避難行動要支援者名簿を使用し、要支援者の安否確認・情報伝達を行う。
	3	□支援計画に基づき、避難搬送訓練を実施する。
防災士 連携	4	□地震、津波、洪水など、要支援者が必要とする支援内容を災害ごとに確認する。
	5	□要支援者に対する避難先での対応・支援体制について検討する。
	□ 救出救護訓練（心肺蘇生法） 防災士指導のもと、心肺蘇生法の講習を実施する。	
	□ 避難所開設訓練 防災士指導のもと、避難所の開設の手順を確認、開設作業を実施する。	
	□ 避難所運営訓練 防災士指導のもと、避難所運営訓練を実施する。	
訓練 準備	□ 地域の災害特性を踏まえた訓練 防災士による、各地域の災害特性についての講義・勉強会を実施し、訓練に活かす。	
	□ ()	
	□ 事前の情報収集 各戸・各地域で総合ハザードマップや情報紙などにより、自宅周辺の災害リスクや避難経路などの確認・検討を行う。	
	□ 女性の視点の取り入れ 訓練の準備の段階で女性の意見を積極的に取り入れる。	
	□ 災害時の課題抽出・検討 災害時に起こり得る課題やトラブルについて抽出・検討を行い、事前の備えについて議論する。(性別, LGBT, 年齢, 宗教など様々な視点から検討する。)	
□ ()		

訓練 内容	<input type="checkbox"/> 各戸訓練 訓練参加者は、災害発生時を想定し、安全確保及び火の始末を行う。 <input type="checkbox"/> 避難誘導訓練 避難誘導班の指示のもと、自治会で指定された一時避難場所（公園等）に集合する。避難中は高齢者等避難行動要支援者を優先し、周囲の安全を確認しながら避難を行う。 <input type="checkbox"/> 情報集約訓練 避難所に集まった避難者の人数・けが等の状況の情報を収集・集約する。 <input type="checkbox"/> 初期消火訓練（消火器の取扱い） 訓練用消火器を使用し、消火器の取扱い方法を習得する。 <input type="checkbox"/> 初期消火訓練（バケツリレー） 参加者全員によるバケツリレーの消火訓練を行う。 <input type="checkbox"/> 救出救護訓練（心肺蘇生法） 消防署員指導のもと、心肺蘇生法の講習を受ける。 <input type="checkbox"/> 救出救護訓練（応急手当） 三角巾や雑誌、新聞紙等、身近なものを用いた応急手当の方法を習得する。 <input type="checkbox"/> 救出救護訓練（応急担架の作成） 毛布と物干し竿を使って応急担架を作成する。 <input type="checkbox"/> 体験訓練 煙体験テントにより、火災時の濃煙を体験するとともに、対処法を習得する。 <input type="checkbox"/> 炊出し訓練 アルファ化米の炊出しを行い、訓練終了後に参加者全員で試食する。 <input type="checkbox"/> （ ）
----------	---

○貸出希望資機材 ※数には限りがあります

【貸出可能資機材メニュー：消火器・消火器的・AEDセット・応急担架・その他（相談）】

品名	数量	貸出・返却場所	備考
		東区役所	

【※区処理欄 貸出日： / 返却日： / 】